

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月31日

事業所名 放課後等デイサービス エスタスカーサ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		指導訓練室、和室、外遊び等、グループを分けて活動している。	
	2 職員の配置数は適切である	○		1~1.5人の利用者様に1人のスタッフを配置するようにしている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		開所当初よりスロープ、手すり、車いす用トイレ等を完備しバリアフリー化している。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ヒヤリハット報告書を作成し、改善に努める。会議にて職員全員で情報共有、計画案等を検討している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		知らない人(特に男性)を極端に怖がる児童がいる為なかなか難しいが、追々検討していきたい。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○				
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児童一人一人の「好き」を尊重し、自主性を育て、主体性を持った活動を第一に考えている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		特に長期休暇は昼食を一緒に取る為、調理する事、食べる事、片付ける事にそれぞれ課題を設定して支援を行っている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援ツール(IT)を導入し、個人記録を通じてスタッフ間で情報共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月毎に支援会議、モニタリング、担当者会議等を行い、支援計画の見直しや策定を行っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校の先生と連携し、確認することを徹底している。		
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療的ケアが今後必要になりそうな児童に対して適切な対応が出来るよう体制を整えていく予定。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		特に重度の児童に関しては、見学及び引継ぎや支援方法等をご指導いただくようにしている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		担当者会議に出席し、障害福祉サービス事業所へ引継ぎを行っている。今年度は、福祉事業所へ体験に行く生徒に対しても情報提供や初日に同行する等のサポートを実施。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		コロナ渦により連携及び研修受講等が難しかった。来年度は善処したい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		小学校の運動場で日々遊んでおり、地域の子どもたちとの交流もある。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		参加したい思いはあるが、開催時間帯が放デイ支援の時間帯と被る為、参加が難しい状況がある。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳、送迎時の申し伝え、LINEやメール、電話等で保護者と伝えあう機会を積極的にもっている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		発達支援の先生を招いて、児童に関わる他事業所スタッフや保護者に対して支援方法やアドバイスをいただくなど、勉強会を開催。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		ご利用前にまず親子でのご見学を必ずしていただきその際にご契約時に時間をかけて丁寧に説明しております。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者から相談があったときは、個別に随時面談や電話で助言、支援を行っている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		親子で参加可能なイベントの案内をしたり、保護者同志を繋いで互いに情報交換出来る環境を醸成している。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月1回のペースでエスタスカサ通信を発行し、保護者に送付。ホームページにも掲載している。	
	35 個人情報に十分注意している	○		個人情報は事務所の施錠できる棚へ収納している。	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		フラワーアレンジ教室や餅つき、ダンス、自然活動のイベント開催等、誰でも参加可能な事業運営を行っている。	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		今後、やむを得ず身体拘束せねばならない事態が発生した時の為に、その可能性のある児童と保護者に対し説明と了解を得た上で個別支援計画書に記載したい。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	保護者に確認をし、アレルギーのある児童に対しては、アレルギー物質が入らないよう配慮している。	医師の指示書がある場合には、指示書に基づいてきっちりと対応していく。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		アプリ内でスタッフ全員が、いつでも記載、共有できる体制を整えている。	